

令和4年度 社会福祉法人春光学園後援会 事業報告

1. 広報誌「春のひかり」の発行

後援会の活動と法人が行う事業の概況を周知するため、後援会の会報を発行した。

	発送月	印刷部数	郵送
1	5月	1,000部	390通
2	10月	1,000部	393通
3	1月	1,000部	431通

印刷部数は春光学園と折半

2. 会員の確保

後援会の会員を募り、会費を徴収して、後援するための財源を確保した。

後援会会費納入依頼 7月郵送 286通

3. 社会福祉法人春光学園が運営する施設への支援

社会福祉法人春光学園・春光基金へ後援会会費から657,080円を寄付した。

4. 会議の開催について

開催日時	会議名	会議内容
令和4年5月7日	会計監査	令和3年度会計監査
令和4年6月28日	三役会	令和3年度の決算(案)及び監査報告について 令和4年度予算(案)及び事業計画(案)について
書面報告	役員会	令和3年度の決算(案)及び監査報告について 令和4年度予算(案)及び事業計画(案)について

5. 会員登録者数及び会費納入状況について

	個人	法人	合計
登録会員数	362	109	471
会費納入会員数	155	66	221
納入金額(円)	1,192,399	1,018,402	2,210,801

※春光基金口座に直接送金分(個人9件158,000円、法人3件30,000円、合計188,000円)含む

令和4年度 社会福祉法人春光学園・春光基金 使途報告

社会福祉法人春光学園・春光基金運用規定に基づき、法人が運営する施設で下記のとおり春光基金が活用された。

1. 学習支援の実施

児童養護施設春光学園に在籍する児童に対する学習支援を行うための講師等の謝礼及び教材購入に要する費用として活用した。教材は、各学校、児童に合わせた教材を講師が選定している。

講師7名(内、幼児・高校生担当は、3名)

	男児	女児	計
幼児	4名	4名	8名
小学生	6名	9名	15名
中学生	2名	4名	6名
高校生	0名	1名	1名
合計	12名	18名	30名

注1)令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染防止のため、園内に高熱発熱者が出た場合、理由を問わずその日の学習支援は全て休止した。

また、コロナ感染者が発生した際は、全児童の隔離期間が終了するまで学習支援を休止したため9月末・11月後半・1月下旬から2月上旬の期間は支援を実施できていない。

注2)小学生・中学生への学習支援講師費用は、横須賀市から支払われるが、不足分に春光基金を活用した。

2. キャリア・カウンセリング・プロジェクト(CCP)の実施

(1) 児童養護施設春光学園に在籍する児童の自立に向けて、キャリア・カウンセリング・プロジェクト(CCP)を実施するための講師謝礼、機材購入に要する費用として活用した。

	日程	Aグループ 19:00～20:00	Bグループ 20:00～21:00
1	4/22(金)	おとなはどうやっておとなになったのか(片山)【合同】	
2	5/13(金)	いろいろな人生(中卒後編)	いろいろな人生(おとな編)
3	6/10(金)	ストレンクス投票	大切にしたい価値観
4	7/8(金)	卒園生の話を聞こう(社会人かな・専門学校生つばさ)【合同】	

5	9/16(金)	適職探索(興味) jobtag	適職探索(価値観) jobtag
6	10/14(金)	3D シミュレーターで 理想のお部屋作り	3D シミュレーターで 理想のお部屋作り
7	11/5(土)	13:00～15:00 2ヵ月人生体験ゲーム【合同】	
8	12/17(土)	10:00～12:00 妄想旅行計画【合同】	
9	1/20(金)	人生設計	人生設計
10	2/24(金)	1年のふりかえりとまとめ【合同】	

参加児童	男児	女児	計
中学生	1名	2名	3名
高校生	2名	3名	5名
合計	3名	5名	8名

講師は、北海道大学大学院教育学研究院・井出智博准教授に依頼した。(zoom を利用して遠隔参加6回・実参加4回)

(2) 社会的養護アフターケア団体施設主催のセミナーへの参加費・児童交通費として活用した。

NPO 法人ブリッジフォースマイル主催

「巣立ちプロジェクト」(高校3年生向け一人暮らし準備セミナー)

参加児童	男児	女児	計
高校3年生	0名	2名	2名

3. 奨学金の支給

児童養護施設春光学園を卒園し、大学及び短期大学・専門学校等に進学した児童に授業料等の一部として奨学金を支給した。

(1) 関東学院大学 3年生 女子(令和元年度卒園)

奨学金 前期・後期分12万円

(2) 横浜保育専門学校 3年生 女子(令和元年度卒園)

奨学金 前期・後期分12万円

(3) 桜美林大学 1年生 女子(令和3年度卒園)

入学金 20万円、奨学金 前期・後期分12万円

(4)横浜デジタルアーツ専門学校 1年生 男子(令和3年度卒園)
入学金20万円、奨学金 前期・後期分12万円

4. 就職支度費の支給

自立を支援するため、就職が決定した児童養護施設春光学園を卒園する児童に就職支度金13万円を支給した。

男児	女児	計
0名	1名	1名

5. 資格取得費の支給

社会的自立に向けて自動車運転免許証等の資格を取得した児童養護施設春光学園に在籍する児童に資格取得費を支給。

男児	女児	計
0名	3名	3名

女児3名のうち1名は、令和3年度高校3年生の女児であり、免許取得中に病気となり、措置延長中(令和4年8月31日退園)の令和4年度に自動車運転免許を取得している。

6. ランドセルの支給 ※令和4年度新規

児童養護施設春光学園に在籍する小学校入学前の児童にランドセル(上限6万円)を支給。

別途寄贈があり、支給なし

令和4年度後援会収支決算書

社会福祉法人春光学園後援会

令和5年3月31日現在

単位:円

	科目	予算	決算	差異	備考
収入	前年度繰り越し	3,441,112	3,441,112	0	
	会費収入	2,400,000	2,022,801	377,199	
	寄付金	0	700,000	△ 700,000	会員外寄付2件
	雑収入	20	34	△ 14	預金利子
	計	5,841,132	6,163,947	△ 322,815	
	支出	春光基金へ寄付	657,080	657,080	0
通信運搬費		150,000	134,298	15,702	郵送料・切手代
印刷製本費		40,000	37,959	2,041	広報誌印刷代
事務消耗品費		10,000	6,799	3,201	
雑費		10,000	2,530	7,470	残高証明書発行手数料
次年度繰越金		4,974,052	5,325,281	△ 351,229	
計		5,841,132	6,163,947	△ 322,815	

令和4年度 社会福祉法人春光学園・春光基金 使途決算

社会福祉法人春光学園

令和5年3月31日現在

単位:円

収入の部			支出の部			
収入内訳	決算	予算	使途	決算	予算	備考
前年度繰越金	1,821,895	1,821,895	学習支援	839,195	1,104,000	
				707,100	1,020,000	講師謝礼
				4,128	5,000	保険代
後援会より寄付	657,080	657,080		8,430	9,000	タブレット通信料
				70,099	40,000	教材費
				49,438	30,000	ホワイトボード・消耗品・講師宛郵送料
寄付金	188,000	340,000	キャリアカウンセリングプロジェクト	252,326	265,000	
				222,740	210,000	講師謝礼
				0	5,000	教材費
				0	10,000	施設見学交通費・食事代
				3,600	40,000	巣立ちプロジェクト外参加費 リモート(ZOOM)参加
				25,986	0	WEBカメラ等リモート用機材
利息	15	25	奨学金	880,000	880,000	(授業料)年12万円 R1年度卒園生2名 R3年度卒園生2名 (入学金)20万円 R3年度卒園生2名
			就職支度費	130,000	130,000	女兒1名
			資格取得費	300,000	200,000	自動車運転免許2名
			ランドセルの支給	0	240,000	
			次年度繰越金	265,469		
合計	2,666,990	2,819,000		2,666,990	2,819,000	